

## 『私が考えたこと』

多久市立東原庠舎中央校 6年 <sup>おがた</sup>緒方 はづき

私はテレビでよく犯罪のニュースを目にします。それを見ていると自分の身の回りでこんなことがあったらいやだなと思います。それと同時になぜこんなことが起きるのだろうか、どうすれば起きないだろうと思います。それをふまえて私は日常生活や、学校生活と照らし合わせて考えてみました。

まず私は犯罪を犯した人がなぜ罪を犯すのか、その理由を調べてみました。調べてみると原因が「憤まん、激情」が最も多く次いで「報復、怨恨」他には「利用目的」などがあり他人に恨みを持っていたり自分の利益のためなどいろいろな理由がありました。罪を犯した人が犯罪に手を出す前に防ぐことはできなかったのでしょうか。

次に私は犯罪を防ぐ方法について調べてみました。先ほどの理由にもあった通り怨恨は文字に恨みが入っています。人の恨みは過去のいじめからくるのではないのでしょうか。私の学校ではトラブルやけんかは少しあるけどいじめはなく仲良く過ごしています。なので私はいじめを経験したことはありませんし、したこともありません。でも学校の授業でいじめに関することを見ているとそのいじめで自ら命をたってしまう人がいるということを知りました。その恨みをなくすことはできないかもしれません。でもそうなる前に周りの人が気づいてあげることや、カウンセリングなどを受け

るなどをして少しでもなやみとともに恨みも減るのではないのでしょうか。またいじめなどがおこってしまった場合、やってしまった加害者側が自分のあやまちに気づいて謝ることができればこのようなことがおきずにすむと思います。

このようなことがおきてしまったときの立ち直りの仕方についてです。犯罪をくり返さないためにはどうすればいいのでしょうか。一般的には犯罪を犯した人は刑務所に入って自分のしたことを悔い改め再び仕事につきます。ですが立ち直ろうとしている人に手を差し伸べなかつたら、その人は再び犯罪に手をそめてしまうのではないのでしょうか。周りの人が自分から手を差し伸べなければならぬけど、私はどうやって手を差し伸べればいいんだろうとぎもんと思って調べてみました。

調べてみると保護司という人々の存在を知りました。具体的に調べてみると私の住んでいる地域や全国いろんなところに存在していることを知りました。保護司というのは犯罪や非行をした人たちが再び犯罪を犯すことがないようにその立ち直りを地域で支える民間のボランティアのことで、全国で約四万七〇〇〇人が保護司として活動しているそうです。

私は犯罪についてあまりくわしくなかったけど、いろいろなことを調べてたくさんを知ることができました。またこのことを通して一人一人が犯罪のおそろしさや、悲しさを知って犯罪の原因となることをつくらないように気をつけていけばいいと思いました。